

# 「原発事故と健康への影響について」

避難計画学習会・第3弾



**マスコミも注目！**  
**まちキャン学習会に六〇人**  
 6月4日、まちなかキヤンパスで、原発ゼロ長岡市民ネット、さよなら柏崎刈羽原発プロジェクト、放射線測定会の三者による原発事故からの避難計画に関する三回目の学習会を開催。過去二回の学習会で「避難計画は被ばくが前提」が明らかになったことを踏まえ、今回は「原発事故と健康への影響について」学びました。

講師は「いのち・原発を考える新潟女性の会」の桑原三恵さん。DNAに放射線があたり2本切断されると修復が困難になり発がんリスクが高まる等、放射線が体を与えるダメージを分かりやすく科学的に説明。あわせて実際に福島で起きている状況について、チェルノブイリと比較しながら解説。原発事故の恐ろしさを改めて知る機会となりました。

地元紙・新潟日報も注目し六月七日付で報道しました。

参加者からは、「福島県の現状は、他人ごとではなく、自分たちの問題として考えていかなければならないと思った」「長岡市民は柏崎で事故が起きたら自宅待機とは、何ともおそまつ極まりない(避難計画だ)」「知らない事ばかりで、役に立ちました」など沢山の感想が寄せられました。



## 相次ぐ原発再稼働に抗議の声をあげましょう

九州電力川内原発1・2号機、四国電力伊方原発3号機、高浜原発4号機に続き、6月6日に高浜原発3号機の再稼働が強行されました。昨年3月大津地裁が運転差し止めの仮処分を決定し停止していましたが、今年3月の大阪高裁によって決定が取り消されたものです。福島原発事故の原因究明も尽くされていない中、いつその危険があるMOX燃料を使うプルサーマル発電。再稼働に強く抗議していきましよう。稼働を許さない運動をさらに強めていきましよう。

## 被ばくの重大事故発生

茨城県にある日本原子力研究開発機構で、6月6日作業員5人が被ばくした事故で、4人の肺から国内最悪の大量のプルトニウムが検出され、残る1人も内部被ばくの疑いが濃厚とされています。吸い込んだプルトニウムは、血液中に溶け込んだり、肺にくっついて体内に残り、放射線を出し続けるとのこと。



## 原発事故から6年余 福島を訪ねる 7・23現地視察ツアーに あなたも！

**浪江町を中心に視察・交流します**  
 浪江町で、町議会の復興・創生特別委員会前委員長の馬場績町議さんからお話を伺ったり、被災現地の案内をしていただいたりしながら、約3時間視察・交流をします。帰りは、避難指示が続いている地域を車窓から視察します。

- ★7月23日(日) 7時 出発 20時 帰着
- ★定員 先着50名 ★参加費6500円
- ★申込み締切日 7月15日(土)

チラシが完成しました (別紙同封)  
 お誘い合わせてご参加ください

柏崎刈羽原発からの距離表示シール  
 これまで 181世帯・313枚  
 の申込みをいただきました。引き続き多くの方に広げていきましよう。

◆7月の街頭行動 7月11日(火) 16:30~17:30 アオーレ前 ご参加を！

原発ゼロ長岡市民ネットニュース  
 第67号 2017年6月10日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15  
 電話・FAX 24-2870  
 矢引 090-3063-6365 佐藤 090-4925-3707